

盛況! スキンタッチ講習会—100人の市民が子供同伴で参加

鍼灸学科 2期 夜間部 杉原朝香



8月26日(土)・27日(日)の両日、本校講堂及び緑橋校舎柔道場において、「日本スキンタッチ協議会2006—くテーマ> 育児を応援しよう鍼灸師にできること、くサブテーマ> もっと知りたい小児鍼の素晴らしさ—」が、学園の後援のもと、開かれました。

スキンタッチ法は、2002年徳島県の恒石真(本校研究科卒、徳島県鍼灸師会会長)、大上勝行(17期夜間部卒、徳島県鍼灸師会学術部長)、篠原新作の各先生他が、小児鍼をスプーンと歯ブラシに持ち替え、ドライヤー等家庭にある手軽な物を使って始めた小児鍼の普及活動です。現在全国22都府県のスキンタッチ会を窓口、全国に広がっています。

本学園は、森秀太郎先生や米山博久先生を始め、竹下イキコ先生、尾崎朋文先生等、小児鍼の著書や、学会等に於ける小児鍼の研究発表・普及活動が盛んな学校でした。

今回、森ノ宮にゆかりのある井上悦子(森流)・鈴木信(米山式)・清水尚道(赤馬の鍼)・谷岡賢徳(大師流)の各先生に、講演と実技を披露いただきました。続いて、「スキンタッチ活動の展望」と題して、この活動の主力となっている女性鍼灸師の代表として、杉原(広島4期昼間部卒)・寺田(東京)・大塚(香川)・大崎(徳島)のシンポジストの発表がありました。

そして、恒石議長の指導者講習会の後、いよいよ本番である市民公開講座では100人強の市民の方を前に、スキンタッチ法を通してコミュニケーションの取り方、小児鍼から東洋医学まで網羅した普及の仕方を、実際

に活動されている先生方と一緒に学ぶことができたのは、鍼灸師になって日の浅い先生や学生さんにとって大きな収穫であったとの感想を抱いております。

スキンタッチ法による鍼灸の普及活動は、世に出てまだ数年です。しかし、鍼灸師自身が汗を流し、地域の人と密着できるこの活動は、対象者が若い人という事とも相俟って、世の中の流れに敏感な若い鍼灸師や学生、同じ目的意識を持った人が集まります。そして、そこには今までにないすごいエネルギーを感じます。

参加者の真剣な眼差しや、グッと身を乗り出して話を聞く姿に感動します。この新しい普及活動であるスキンタッチ法が、小児鍼の本場、大阪・森ノ宮の地で、「日本スキンタッチ協議会 2006」として開催できたことは、非常に感慨深いものがあり、新しい流れを感じずにはいられませんでした。そして、森ノ宮医療学園にもめでたくスキンタッチの同好会が生まれました。皆さんで応援してやってください。



森ノ宮医療学園専門学校でも スキンタッチ同好会を立ち上げます。



上記日本スキンタッチ協議会2006に参加した森ノ宮の学生さんたちが、9月11日、学内に同好会を作ることになり、杉原朝香(2期生)さんの指導のもと、初会合を開きました。

当面は、11月3日学園文化祭において、親子スキンタッチ教室を開催できるよう、勉強会をし、その準備を始めることになりました。

多くの学生・教職員の同好会会員を募ります。

☆連絡先: 鍼灸学科アドバンス2年 柳田融輝、教員 清水尚道

解剖見学実習報告

教務部長 尾崎朋文

本年度は4月22・25・26日に柔道整復学科2・3年生、5月10・12・13日に鍼灸学科2・3年生が解剖見学実習を行いました。

本校では、専修学校研修員として柔道整復学科の井上護・山本達也の両名を大阪大学歯学部第2口腔解剖教室に派遣しており、また、元研修員である理事長の森俊豪や尾崎朋文、および両学科の教員を加え、事前に実習内容を検討し、今年度も系統解剖学的学習のみならず、鍼灸師や柔整師の目に見た局所解剖学的学習も行いました。

それ以外に「生と死」や「献体」、「白菊会」、「屍活師」(ご遺体は言葉を出さないが、生きた多くのことを学ばせてくれる師であるとの意味)等を学習しました。短い時間でしたが、収穫の多い解剖見学実習でした。

ご指導いただきました大阪大学歯学部第2口腔解剖学教授の吉田篤先生、ならびに講師の森谷正之先生に厚くお礼申し上げます。

スキンタッチ全国大会のアルバムは、インターネット上でご覧になれます。YAHOO等検索エンジンへ「スキンタッチ掲示板」と入力して検索してください。 <http://www.tcn.ne.jp/~projectk/joyful/joyful.cgi>

スキンタッチ法の書籍に関しては、

① 鍼灸師向け

「スキンタッチ指導マニュアル—小児はり普及プロジェクト—」
編著/大上勝行・徳島県鍼灸師会 出版/徳島県鍼灸師会 価格1,500円(送料別)

② 一般向け

「毎日5分! 親子スキンタッチ健康法—赤ちゃんから10歳までの対処法—」
編著/大上勝行 出版/亜紀書房 価格1,365(税込・送料別途)

